

新卒新人看護師研修「患者さんになってみよう」

～患者体験を通して看護を考える～ 新人サポートに参加して

看護部教育委員会看護師 田中京子

今回の新人研修は3つの模擬体験「身体抑制、老人体験、片麻痺」を経験してもらいました。体験を通して新人同士で意見交換し今後の看護につながる学びができたようなので少しお話をさせていただきます。

身体抑制体験では行動を抑制することで心理的苦痛以外にも ADL 低下や褥瘡発生リスクに

つながること、定期的なカンファレンスが必要であることを身をもって体験できたようです。老人体験では足に重りをつけ、可動範囲をベルトで調整できるスーツを着用しゴーグルをつけ円背の姿勢で眼科受診する設定でしたが、案内板や受付表が見え辛く少しの距離でも疲労を感じ不安が生じたと感じたようです。片麻痺の体験では階段の上りは健足から、下りる時は麻痺側から、座る時は健肢から、手を先につけ足を曲げて座るなどアドバイザーからの助言で上手くいったこともあり、看護師として必要な知識で患者さんに指

導できるナースでありたいというような声が聞かれました。今回の体験で患者さんの身体的・心理的苦痛を理解し倫理的思考を考えるきっかけとなったようです。

